

東京 IPO 特別コラム

2016年8月17日 Vol.42

そろそろ出番到来か IT 系新興市場銘柄

お盆明けの株式相場は為替が円高で日経平均が停滞。リスクマネー投入のチャンスをとっていた皆さんは方向感が定まらない中、過去の株価トレンドを吟味しながら銘柄研究に余念がないものと推察されます。これまでの相場の流れはテーマ性に沿った物色を行い、多くの銘柄が異常値まで買い上げられ、投資家によっては高値掴みとなってしまう可能性があります。テーマに沿った理想買いは現実の収益面でのネガティブ要素で否定され、しばしの調整局面を迎えることとなります。

こうした中で上場後穏健に推移してきた LINE（3938）株が 8 月上旬の 3800 円台から 4700 円台まで上昇するなど個別銘柄には堅調な値動きが見られますが、過去 2 年ほどの期間に IPO を果たした IT 系の銘柄も多くはそうした調整局面にありますので投資タイミングが計り難いものと推察されます。

既に、前々号で取り上げた IoT 機器向けサイバーセキュリティ関連のアドソル日進（3837・東証 2 部）が第 1 四半期決算の好調さを反映して株価の上昇傾向が見られますが、これに続いてビッグデータ関連のテクノスジャパン（3666・東証 1 部）が底打ちの兆しを見せるなど、新興市場を卒業した銘柄の動きが活発化しています。これらは業績の底堅さ、中長期的な成長性への評価、投資テーマを備えているといった要素を含んでいます。

一方で、2014 年以降にマザーズ市場に IPO した IT 系の銘柄は ITbook（3742・2014 年 7 月・IT コンサル・上場後高値 2125 円⇒時価 356 円）、FFRI（3692・2014 年 9 月・情報セキュリティ・同 18500 円⇒時価 3605 円）、PCI ホールディングス（3918・2015 年 8 月・IoT 開発・同 6165 円⇒時価 2370 円）、アイビーシー（3920・2015 年 9 月・ICT インフラ性能監視・同 3075 円⇒時価 997 円）、ネオジャパン（3921・2015 年 11 月・クラウドサービス・同 5496 円⇒時価 1585 円）、ダブルスタンダード（3925・2015 年 12 月・ビッグデータ関連・同 6180 円⇒時価 2920 円）、アークン（3927・2015 年 12 月・情報セキュリティ・同 5220 円⇒時価 783 円）など 7 銘柄ありますが、いずれも高値から大きく値を下げて調整を続けており、足下の業績や企業価値を吟味して再評価すべき局面となりつつあります。

これらの銘柄にはアークンのように業績以前の問題で投資家から敬遠されたものもありますし、中には既に成長をかなり先取りしたと見られる銘柄もあります。ただ、テーマ性や需給次第では循環的に買われる要素のある銘柄もあります。また、ネオジャパンのように四半期決算の進捗の高かった銘柄もあります。ビジネスの内容は更に吟味しないときちんとした評価はできませんが、少子高齢化が進む日本経済にとって重要な生産性の向上に貢献する IT 系各社の活躍に期待が寄せられます。

折しも 9 月 2 日には IT コンサル企業であるベイカレント・コンサルティング（6532）がマザーズ市場に上場予定しています。また 9 月 16 日には ERP ソリューショ

東京 IPO 特別コラム

ン事業を展開するノムラシステムコーポレーション(3940)がJASDAQ市場に上場を予定しています。そろそろ出番到来のIT系各社が相場の突破口になりますか、皆さんも大いに関心を持って頂きたいと思います。

(東京 IPO コラムニスト 松尾範久)